

吉岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和3年度実績

産品のPR活動(農業振興室)

基本目標 1.「地域力」を活かした、誰もが安心して暮らせるまち

数値目標	住みやすい町と感じている町民の割合	基準値	83.2%(平成30年度)
		目標値	85.0%(令和6年度)

(1)豊かな住環境の整備と安心・安全、便利なまちづくり

KPI	公共交通利便性向上に関する実証実験等取組事業数			未達成の場合、その理由
目標 R6	2種類 (達成目標)	現況 H30	1種類	バスは他市町村との共同事業であり、町独自での実証実験は難しいため。順調に推移しているタクシー運賃等助成事業の推進を図り空白地域の交通の不便さを解消していく。
年度	実績値		達成率	
R2	1種類		50%	
R3	1種類		50%	
R4	-種類			
R5	-種類			
R6	-種類			
担当部署	企画財政課 企画室			
KPI	消防団員の充足率			未達成の場合、その理由
目標 R6	90% (達成目標)	現況 H30	79%	新型コロナウイルス感染症感染拡大により、戸別訪問など消防団員の勧誘活動がほとんどできなかったため。
年度	実績値		達成率	
R2	78.9%		88%	
R3	73%		81%	
R4	-%			
R5	-%			
R6	-%			
担当部署	総務課 安全安心室			
KPI	マイナンバーカードを利用した諸政策の実施			未達成の場合、その理由
目標 R6	5件 (達成目標)	現況 H30	未実施	徐々にマイナンバーカード活用を場を広げていくため。まずはコンビニ交付の実施に取り組んだ。
年度	実績値		達成率	
R2	1件		20%	
R3	1件		20%	
R4	-件			
R5	-件			
R6	-件			
担当部署	企画財政課 企画室			

①計画的な土地利用による良好な住環境の形成

主な施策・事業	概要	取組実績
身近な公園の整備	子育て世帯を中心に、身近な憩いの場を求める声が多いことから、計画的な公園等の整備を進めていきます。	【午王頭川親水公園整備事業】(都市建設室) 地権者との接触を行った。 【八幡山運動公園整備事業】(生涯学習室) スポーツ関係団体代表者、自治会長、学校関係者と「八幡山公園」多目的屋外運動場の整備に向けた打合せ会を開いた。 【自治会広場の整備】(協働安全室) 令和3年度としては相談も含め、実績はなかった。
土地利用の規制・誘導	市街地の「まとまり」をつくり、全ての世代が暮らしやすいまちを目指すため、土地利用の規制・誘導について推進します。	【都市計画マスタープランの見直し・改定】(都市建設室) マスタープランに沿った整備を行った。 【土地利用規制手法の検討準備】(都市建設室) アクションプログラムに沿った整備を行った。
緑化推進事業	花と緑の美しいまちづくりを推進していくために、住民の緑化思想の普及啓発を図るとともに、住民参加による都市緑化の取組を推進します。	【緑の少年団育成事業】(農業振興室) 明治小・駒寄小の5・6年生を対象にプランターを作成するなど、緑化思想の高揚が十分に図れた。

②公共交通・道路網の充実

主な施策・事業	概要	取組実績
公共交通利便性向上事業	恵まれた都市環境をさらに発展させるとともに、公共交通空白地域・不便地域の解消と町民のスムーズな移動の確保を目指し、タクシー運賃等助成事業の更なる拡充や巡回バスなどの運行により、公共交通の利便性の向上を図ります。	<p>【前橋駅上野田線運行ダイヤ見直し及びルート変更協議】(企画室) 周辺駅へのアクセスを確保した持続可能なルートへの変更を協議し、変更した。</p> <p>【タクシー運賃等助成事業の実施】(企画室) 広報や町ホームページなどで周知し、利用者が増加した。 利用枚数:3,514枚 申請者数:280人 助成額:1,757,000円</p> <p>【巡回バス運行事業】(スクールバスの活用事業も含む)(企画室) 巡回バスの導入に関する検討を進めた。</p> <p>【通学バスの運行】(学校教育室) 吉岡町立の小中学校に通学する児童等の通学の利便を図るため、次の料金で運航した。 児童等1人につき1か月単位での使用の場合は1,550円。 1日単位の使用の場合は100円。 ただし、同一世帯内に前項の許可を受けた児童等が2名以上いる場合における最年長の児童等以外の児童等の使用料は、0円。</p>
政策連携による道路整備の推進	近隣自治体との連携道路の整備促進や、国や県に対する要望活動を通じ更なる道路網の充実を図ります。	【渋川連携道路】(都市建設室) 測量、用地買収及び文化財調査を実施した。
安心して通行(歩行)できる環境整備	通学路を中心に、児童・生徒が安心して通行できるよう、関係機関との協議を進めます。 緊急輸送道路や通学路を対象として、地震によるブロック塀等の倒壊等の被害を防止し、道路利用者の安全を確保します。	<p>【ブロック塀除却補助事業】(都市建設室) 2件(376,000円)交付した。</p> <p>【通学路の危険箇所の把握と解消】(用地管理室) ・路面表示「急カーブ注意」「速度落とせ」「学童注意」「横断者注意」12カ所 ・地権者交渉2件 ・交差点部に警戒看板設置5カ所 ・外側線及び停止線更新町内各所</p> <p>【県道歩道整備の推進】(用地管理室) 地権者意向確認・折衝(4件)、境界確認の協力(1件)を行った。</p> <p>【橋梁長寿命化計画の策定及び橋梁定期点検の実施】(用地管理室) 吉岡町橋梁定期点検業務(49橋)を行った。</p>

③安心・安全なまちづくり

主な施策・事業	概要	取組実績
防災・減災に向けた取組の更なる強化	自主防災組織による活動を支援するとともに、講習会などを実施して防災知識の習得や普及を図ります。また、新たに地域防災活動のリーダーとなる防災士等の育成を推進します。 災害等に迅速に対応するため、老朽化している防災無線のデジタル化と戸別受信機の設置を進め、防災機能の充実を図ります。 消防団員の確保をするため、町や自治会の行事等で団員募集チラシを配布・回覧し入団希望者を募るとともに、町内の企業や店舗に対し従業員の入団を働きかけるなどし、消防団の充実強化を図ります。 防災、減災に対するアンケートによる住民一人ひとりの意識度を調査するとともに、各家庭での防災備蓄、減災対策の啓発を行い、「自助」に対する意識強化を図ります。	<p>【講演会の開催】(協働安全室) 5つの自治会の防災訓練等に、町防災専門員や町職員が講師として参加し、住民の防災意識の向上を図った。</p> <p>【防災無線放送施設整備事業】(協働安全室) 令和2年度～令和4年度の3カ年事業の防災無線デジタル化設置工事を行った。</p>
空き家対策事業	周辺の生活環境に悪影響を与えることが懸念される「問題のある空き家」について実態を調査し、必要な措置をとっていきます。	【空き家実態調査】(都市建設室) 月1回の空き家相談を実施した。
住宅耐震対策事業	耐震診断により、改修が必要とされた住宅の改修費用の一部助成制度を推進します。	<p>【耐震診断者派遣事業】(都市建設室) 実績なし</p> <p>【住宅耐震対策事業】(都市建設室) 除却支援事業補助実績なし</p>
放課後児童安全対策事業(見守りパトロール)	児童の帰宅時等の安全を確保するため、放課後に見守りパトロールを実施します。	【見守りパトロール事業】(協働安全室) 公益社団法人シルバー人材センターに委託し、町内小学校の下校時間帯に、町が所有する防犯パトロール車によるパトロールを実施した。
放課後児童安全対策事業(防犯カメラ)	児童の安全の確保および犯罪防止を目的として、児童が集まる場所等に防犯カメラの設置を進めます。	【防犯カメラ設置事業】(協働安全室) 児童の安全確保及び犯罪防止を目的に、防犯カメラ4台を設置した。

④利便性の高いまちづくり(新しい時代の流れを強化)

主な施策・事業	概要	取組実績
新しい技術の導入推進	行政手続における添付書類の簡略化や、各種手続における行政機関への来庁を不要とする電子申請等への取組、国や県および民間企業などとの協働による自動運転(無人)バスの実証実験等の取組を推進します(Society5.0の活用・推進)。	【証明書等コンビニ交付サービス】(企画室) 住民票、印鑑証明書及び各種税証明書のコンビニ交付サービスを開始した。

⑤未来志向の持続可能なまちづくり

主な施策・事業	概要	取組実績
行財政運営の効率化	限られた資源の中で、先進的な技術を取り入れることで、人的・財政的にも持続可能なサービスを維持していきます。	【自治体DX推進計画の推進】(企画室) マイナポイント第2弾が開始され、周知を行いマイナンバーカードの普及啓発を図った。 【住宅用太陽光発電システム設置整備事業費補助金事業】(住民環境室) 30件、2,918,000円の補助を行った。

(2)住民が共に進めるまちづくり

KPI	自治会により地域づくり振興事業補助金を活用した事業の参加者数			未達成の場合、その理由
目標 R6	8,000 人 (達成目標)	現況 H30	7,029人	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事業の実施を控えた自治会が多かったため。
年度	実績値		達成率	
R2	410 人		5%	
R3	620 人		8%	
R4	- 人			
R5	- 人			
R6	- 人			
担当部署	住民課 協働環境室			

主な施策・事業	概要	取組実績
自治会地域づくり振興事業	自治会の自主的な取組による地域に根ざす活動を支援し、地域の特色を活かした魅力あふれる施設づくりによるまちづくりを推進します。 地域活動の先進事例紹介などの講演会等を開催し、自治会活動を支援します。	【自治会地域づくり振興事業】(協働安全室) 補助金等審査委員会からの答申及び社会情勢の変化を鑑み、自治会の負担軽減を図りながら町と自治会の協働のまちづくりを推進するため、「自治会振興助成事業補助金」に統合し、実施した。 【自治会振興助成事業】(協働安全室) 補助金等審査委員会からの答申及び社会情勢の変化を鑑み、自治会の負担軽減を図りながら町と自治会の協働のまちづくりを推進するため、「自治会地域づくり振興事業」を統合し、実施した。
ごみ出し支援ボランティア	高齢者や障害者の一人暮らし世帯等で支援が必要な方が安心して暮らせるように、地域や団体がごみ出し等を代わりに行うなど、取組を推進します。	【ごみ出し支援ボランティア事業】(協働安全室) 実際に自治会等で実施したところはなかった。
地域づくり団体への支援強化	組織化に至っていない地域づくり団体に対し、県地域づくり協議会との連携の中で、ノウハウなどの提供をしながら、サポートを行っていきます。 現在町内で活動されている団体との繋がりを更に密にし、補助金等も含め支援します。 県地域づくり協議会との関わりをさらに深め、県内自治体および加盟団体との相互連携の中で活動内容の充実を図ります。	【未組織化の地域づくり団体のサポート、及び既存団体の活動強化】(協働安全室) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から協議会の会議等が実施されず、また地域づくり団体の活動も制限される中、サポート等も行えなかった。

基本目標 2. 一人ひとりが輝き、生き生きと暮らせるまち

数値目標	子育てしやすいと感じている保護者の割合	基準値	33.1%(平成30年度)
		目標値	35.0%(令和6年度)
	健康と感じている高齢者の割合 (要介護認定者を除く)	基準値	68.8%(令和元年度)
		目標値	72.0%(令和6年度)

(1)子育てしやすいまちづくり

KPI	子育て相談会利用者数			未達成の場合、その理由
目標 R6	200人 (達成目標)	現況 H30	152人	新型コロナウイルス感染症感染状況による中止、来所控え等のため。
年度	実績値		達成率	
R2	347人		174%	
R3	192人		96%	
R4	-人			
R5	-人			
R6	-人			
担当部署	健康子育て課 健康づくり室			
KPI	学童クラブの定員			未達成の場合、その理由
目標 R6	405人 (達成目標)	現況 H30	365人	達成。
年度	実績値		達成率	
R2	385人		95%	
R3	405人		100%	
R4	-人			
R5	-人			
R6	-人			
担当部署	健康子育て課 子育て支援室			

①子育てに関する不安や悩みの軽減

主な施策・事業	概要	取組実績
産前・産後サポート事業	家事や育児を手伝ってくれる家族がいない、産前1か月から産後1年までの妊産婦を対象に、家事や育児の支援を実施します。	【産前・産後サポート事業】(健康づくり室) 妊娠届出時、出生手続き時、家庭訪問時等に、案内チラシにて事業を周知した。妊娠届出数:244件。
発達障害の早期発見のための各種健診の充実	自閉症やADHD(注意欠陥・多動性障害)・ASP(アスペルガー症候群)等の広汎性発達障害を早期に発見し、子どもの生活のしづらさと保護者の負担や不安の軽減を図るため、「こどものこころの発達健診」「年中児こころの成長アンケート」「発達支援教室」を実施します。	【こどものこころの発達健診】(健康づくり室) 対象者への声掛け:1件、参加者:0人 *新型コロナウイルス感染症の影響により健診会場の変更があったため、発達検査は現在実施していない(相談のみ実施、相談を充実させている。)。1歳6ヶ月児健診時に心理相談の利用へ繋がれば、こころの発達健診ではなく数ヶ月後の個別の相談会等に繋げてフォローしている。 【年中児こころの成長アンケート】(健康づくり室) アンケート発送数:234件 保護者回答数:176件 園への依頼件数:62件 発達支援教室案内送付数:29名(内1名昨年度対象児) 教室参加者(延):39名 【発達支援教室】(健康づくり室) 「じゃんぶ」(8回開催) 発達支援教室案内送付数:29名(内1名昨年度対象児) 参加者(延):39名 「ほっぶ」(8回開催) 参加者(延):54名
育児相談事業	乳幼児検診の事後相談の充実と、母乳相談や子育て相談会のスタッフの充実を図ることにより、健診後の要観察児童の電話相談や訪問相談等のフォローを充実させて、育児不安やストレスの軽減・解消を図ります。	【育児相談の充実事業】(健康づくり室) 子育て相談会:37件 すてっぷ:17件 ことばの相談:19件 運動発達の相談:38件 随時心理相談:83件 TEL相談:89件 母乳・離乳食相談:195件 助産師相談会:10件
ワーク・ライフ・バランスの普及・促進	町民や企業に対しての広報・ホームページ等を通じたPR活動により、ワーク・ライフ・バランスに対する意識の啓発を図り、仕事と家庭の両立を促進していきます。	【ワーク・ライフ・バランス普及促進事業】(産業振興室) 広報や庁舎内での掲示物などで適宜周知を行った。
赤ちゃんの駅(情報マップ)の活用支援	外出中のおむつ替えや授乳などで誰でも自由に立ち寄ることができる公共施設や民間施設を「赤ちゃんの駅」として指定します。また、赤ちゃんの駅がどこにあるのか一目で分かるよう、地図等による情報提供を充実していきます。	【赤ちゃんの駅情報提供】(子育て支援室) 公共施設において無料で使用できる「おむつ」を配置した。 【赤ちゃんの駅指定事業】(子育て支援室) 吉岡町商工会に町内商業施設への周知を依頼した。

②子育ての経済的負担の軽減

主な施策・事業	概要	取組実績
不妊・不育対策支援	特定不妊治療への助成に加えて、一般不妊治療、男性不妊治療、不育症など各種不妊治療に対し一部助成をすることにより、子どもをもちたいと考えている夫婦が安心して治療に望める環境を引き続き整えていきます。	【不妊治療費助成事業】(健康づくり室) 令和3年度助成数55件(2,945,000円) 内訳 特定不妊治療22件(1,755,000円) 一般不妊治療(1,190,000円)
学校給食費における負担額軽減事業	引き続き、町内の児童生徒の学校給食費の一部補助を実施し、子どもをもつ家庭の経済的負担の軽減を図ります。	【学校給食費補助事業】(教育総務室) 児童生徒1人当たり950円×11ヶ月=10,450円 食材費補助5,000,000円
高校生等の通学支援	公共交通機関を利用して遠距離通学する高校生等をもつ家庭の経済的な負担軽減を図ります。	【高校生等公共交通通学支援事業】(企画室) 広報や町ホームページなどで周知した。電子申請が可能になり保護者の負担を軽減した。 申請件数:264件(内電子申請138件) 申請者数:90人 補助額:741,000円

③働きながら安心して子育てできる環境整備

主な施策・事業	概要	取組実績
学童クラブの充実・整備	年々増加する学童クラブの利用希望や要望に対応できるように、環境整備を進めていきます。	【駒寄第4学童クラブ整備事業】(子育て支援室) 幼保連携型認定こども園駒寄幼稚園に対し、補助を実施し、設置した。 【新明治第2学童クラブ新設事業】(子育て支援室) 令和3年度に完成し、令和4年度から運用を開始している。

(2)「子どもを育てる」、「子どもが育つ」環境づくり

KPI	ALT(外国語指導助手)の人数 (日本人を含む)			未達成の場合、その理由
目標 R6	4人 (達成目標)	現況 H30	3人	達成。
年度	実績値		達成率	
R2	4人		100%	
R3	4人		100%	
R4	-人			
R5	-人			
R6	-人			
担当部署	教育委員会事務局 学校教育室			
KPI	マイタウンティーチャーターの人数 (ALTを含まない)			未達成の場合、その理由
目標 R6	17人 (達成目標)	現況 H30	14人	達成。
年度	実績値		達成率	
R2	17人		100%	
R3	17人		100%	
R4	-人			
R5	-人			
R6	-人			
担当部署	教育委員会事務局 学校教育室			

①就学前児童と保護者の交流・成長支援

主な施策・事業	概要	取組実績
家庭保育児支援事業	保育園等に通園していない保護者の育児相談や子育てサークルへの指導・援助、一時預かり事業や児童館および子育て支援センターの充実を図ります。	【地域子育て支援拠点事業】(子育て支援室) 吉岡町第四保育園の一部を活用し、育児子育て相談を実施した。
保育士確保事業	増加する保育園等への入園希望世帯のニーズに応えられるように、保育士の確保を進めていきます。	【保育士確保事業】(子育て支援室) 保育士の確保のため、補助金を交付した。

②児童・生徒の教育環境等の充実

主な施策・事業	概要	取組実績
ALT、マイタウンティーチャー等の拡充	小中学校におけるALTの拡充を図り、語学学習の環境の充実を推進します。 小中学校におけるマイタウンティーチャー等の拡充を図り、よりきめ細かな学習への支援を行います。	【ALTの活用・増員】(学校教育室) 明治小:1、2年生には日本人ALT、3年生以上には外国人ALTを配置した。 駒寄小:1~3年生には日本人ALT、4年生以上は外国人ALTを配置した。 吉岡中:全学年に外国人ALTを配置した。 上記状況の通り、主な取組の概要通りの実施ができた。 【マイタウンティーチャー等の活用・増員(学習補助員を含む)】(学校教育室) マイタウンティーチャーは、明治小に2名、駒寄小に1名の計3名を配置し、学級補助員は、明治小に7名、駒寄小に7名、吉岡中に3名の計17名を配置した。
学校・家庭・地域の連携推進事業	学校運営協議会の中で、学校・家庭・地域の連携のあり方について考えていきます。 地域住民による地域学習やスポーツ指導、登下校時の見守り等のボランティア活動を推進し、地域の教育力の向上を図っていきます。	【地域学校支援センターによる地域人材の活用】(学校教育室・生涯学習室) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止による、外部との交流自粛のため、実施できるものが少なかったが、登下校時の見守り活動等できる範囲で活動が再開するものもあった。
吉岡町・大樹町子ども交流事業	次世代を担う町内の小学生を大自然あふれる友好都市北海道大樹町に派遣し、自然体験活動・社会体験活動・宿泊体験活動を通じて「生きる力」を育み青少年の健全育成を図ります。 異なる環境や生活・文化を学ぶことにより視野を広げ、学校・地域社会でリーダーシップを発揮できる人材を育成していきます。	【吉岡町・大樹町子ども交流事業】(生涯学習室) 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、本研修が実施できなかったため、ペットボトルロケットを作成し、飛ばす代替事業を行った。

③子どもの可能性を広げるための学習支援

主な施策・事業	概要	取組実績
「プロフェッショナル」による出前講座の開催	スポーツや芸術分野等で活躍する「プロフェッショナル」の方に職業紹介や人生体験等を語ってもらうことにより、こころ豊かな子どもの成長を促します。	【講座開催に向けた小中学校との調整】(学校教育室) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止による、外部との交流自粛のため、実施できなかった。
ICT環境の充実	文部科学省のGIGAスクール構想に基づいた超高速ネットワークや児童生徒用端末等のICT環境の整備を行い、学習者用端末を日々の学習用具の一つとして活用する中で、児童生徒に国際社会に通用する意識やスキルを身に付けさせるための取り組みを行います。	【パソコン教室の整備・タブレットの導入】(教育総務室) 来年度就学予定の児童生徒が使用する情報端末の不足分47台を調達した。(2,810,000円)

(3)健康で生き生きと暮らせるまちづくり

KPI		特定健診および人間ドック受診率		未達成の場合、その理由
目標 R6	50.0 % (達成目標)	現況 H30	44.4%	新型コロナウイルス感染症感染拡大により、健診受診控えのため。
年度	実績値		達成率	
R2	33.2 %		66.4%	
R3	34.5 %		69.0%	
R4	- %			
R5	- %			
R6	- %			
担当部署	健康子育て課 健康づくり室			
KPI		よしおか健康No.1プロジェクト等参加者数		未達成の場合、その理由
目標 R6	25,000 人(延) (達成目標)	現況 H30	延19,705人	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、事業を縮小したため。
年度	実績値		達成率	
R2	13,028 人(延)		52%	
R3	14,027 人(延)		56%	
R4	- 人(延)			
R5	- 人(延)			
R6	- 人(延)			
担当部署	健康子育て課 健康づくり室			
KPI		地域福祉交流拠点施設利用者数		未達成の場合、その理由
目標 R6	3,000 人 (達成目標)	現況 H30	1,802人	新型コロナウイルス感染症感染拡大により貸館中止及び利用を制限したため。
年度	実績値		達成率	
R2	928 人		31%	
R3	909 人		30%	
R4	- 人			
R5	- 人			
R6	- 人			
担当部署	介護福祉課 介護高齢室			

①地域ぐるみでの健康づくり施策の推進

主な施策・事業	概要	取組実績
健康活動の推進事業	一日の運動量を活動量計などで確認することにより、町民の健康意識の向上を図ります。	【健康増進事業】(健康づくり室) 新型コロナウイルス感染症観戦拡大防止の観点から、集団での事業は中止した。地区の集会所を巡回し、運動DVDを用いた運動教室や体力測定を実施した。
総合検診の充実	総合検診として、特定健診、がん検診、わかば健診を同日に実施し、受診率を高め、町民の健康管理および病気の早期発見につなげることで、町民の健康づくりを支援します。	【総合検診の充実】(健康づくり室) 集団検診を11日間実施。新型コロナによる検診受診控えがやや和らぎ、令和2年度よりも全検診(健診)にて受診者が増加した。 【集団検診受診者数】 肺がん:1,700人 大腸がん:1,712人 胃がん:763人 乳がん:996人 子宮頸がん:714人 前立腺がん:583人 特定健診:701人 わかば健診:310人
介護予防・生活支援サービス事業の推進	支援を必要としている高齢者を対象に、生活機能の低下に係る早期発見・早期対応を行う介護予防・生活支援サービス事業を提供することにより、要介護状態とならないように支援をしていきます。	【介護予防・生活支援サービス事業の実施】(介護高齢室) 従前の訪問・通所介護相当のサービスの他、医療の専門職が短期集中的に自宅で相談指導等を行う「訪問型サービスC」を新たに開始した。
学習機会の充実	教養講座をはじめとする様々な学習機会を提供することにより、町民の生きがいづくりを支援します。	【よしおか手作り講座】(生涯学習室) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、講師の一般募集を行わず座学を中心に企画した。11月から2月までの間で8講座中6講座を開講した。1講座は、「お試し期間愛好会」として活動を続けることとなった。 【教養講座】(生涯学習室) 高齢者向けの教養講座「エナジーカレッジ」や体操講座「ズバツと健康！体操教室」を実施した。また、成人向けの講座では土屋文明記念文学館の移動展を開催し、「文学者たちの書を味わう」と題して講演会を実施した。

②誰もが活躍できる地域社会の形成

主な施策・事業	概要	取組実績
地域福祉交流拠点施設の交流事業	吉岡町社会福祉協議会のサポートのもとボランティアが主体となり、元気になるカフェをはじめとした様々な事業を実施します。	【「元気になるカフェ」の開催】(介護高齢室) 「元気になるカフェ」等を開催した。

基本目標 3. 地域資源を活かした産業や交流を応援するまち

数値目標	就学未満児の母親が働いている割合 (育休時、パート等を含む)	基準値	71.8%(平成30年度)
		目標値	73.5%(令和6年度)
	高齢者の就業率(要介護認定者を除く)	基準値	21.6%(令和元年度)
		目標値	25.0%(令和6年度)

(1)地域を誇りに思い、魅力を発信するまちづくり

KPI	道の駅年間利用者数			未達成の場合、その理由
目標 R6	440,000 人 (達成目標)	現況 H30	419,514人	設備更新工事により、温泉を休館した期間(8/1~8/31)があるため。また新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、道の駅や温泉等の利用者が減少したため。
年度	実績値		達成率	
R2	251,000 人		57%	
R3	217,734 人		49%	
R4	- 人			
R5	- 人			
R6	- 人			
担当部署	産業観光課 産業振興室			
KPI	ホームページ年間閲覧数			未達成の場合、その理由
目標 R6	450,000 件 (達成目標)	現況 H30	406,285件	達成。
年度	実績値		達成率	
R2	887,129 件		197%	
R3	1,018,294 件		226%	
R4	- 件			
R5	- 件			
R6	- 件			
担当部署	企画財政課 企画室			
KPI	町公式SNSのフォロワー数(合計)			未達成の場合、その理由
目標 R6	3,000 人 (達成目標)	現況 H30	未実施	町の情報発信について有効なプラットフォームの選択について検討する時間が必要であったため。
年度	実績値		達成率	
R2	未実施 人			
R3	未実施 人			
R4	- 人			
R5	- 人			
R6	- 人			
担当部署	企画財政課 企画室			
KPI	文化財センター利用者数			未達成の場合、その理由
目標 R6	1,500 人 (達成目標)	現況 H30	1,080人	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、講座等事業が実施できなかったため。また、外出を控える動きも影響したため。
年度	実績値		達成率	
R2	1,113 人		74%	
R3	1,178 人		79%	
R4	- 人			
R5	- 人			
R6	- 人			
担当部署	教育委員会事務局 生涯学習室			

①地域資源の発掘・活用

主な施策・事業	概要	取組実績
複合施設「道の駅 よしおか温泉・緑地運動公園」の利用促進	パークゴルフの全国大会の開催や「渋川～伊香保～吉岡観光トライアングル」などの広域での観光産業の育成を支援していきます。	【緑地運動公園利用促進事業】(産業振興室) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対応により小規模な大会のみの開催となったが、グリーンメンテナンスを充実させ、より良いコースを提供した。来場者には、温泉利用等と呼びかけ、1日滞在型複合施設であることをPRした。
観光ボランティアの育成・連携	野田宿や大久保宿、船尾滝などの町内の見どころを有効活用するために、よしおか再発見ウォークへのボランティアスタッフの導入を推進します。 地域の語り部を観光ボランティアとして養成するための講座やワークショップを、既存の文化団体との連携を図りながら開催します。	【よしおか再発見ウォーク】(産業振興室) 新たな観光PRイベントの実施計画があったことから、よしおか再発見ウォークは開催されなかったため、観光ボランティアに対する取組実績はなし。
		【よしおか再発見ウォーク】(生涯学習室) 新型コロナウイルス感染症感染拡大により実施できなかった。
		【観光ボランティア養成講座、ワークショップ】(産業振興室) 新たな観光PRイベントの実施計画があったことから、よしおか再発見ウォークは開催されなかったため、観光ボランティアに対する取組実績はなし。
文化財を資源とした交流エリアの形成	歴史文化に関する情報発信や各種交流事業を実施し、町民の郷土愛の情勢を図るとともに、さまざまな方面にアピールしていきます。	【企画展等の開催】(生涯学習室) 企画展「名勝船尾滝と周辺の文化財」(令和3年6月5日～10月31日) 「町制施行30周年記念企画展示 写真で見る吉岡町の今昔」(令和3年12月19日～令和4年3月31日)
文化財資源の動画配信	ドローンなどで撮影を行い、文化財施設の紹介動画などをスマートフォンなどで気軽に見られるようにし、認知度や魅力度をさらに高めます。	【文化財資源等の動画制作・配信】(生涯学習室) 町指定重要無形文化財「大藪獅子舞」・「下八幡宮獅子舞」・「溝祭獅子舞」の映像作成を行い、YouTubeなどでの動画配信やDVDの作成を行った。

②「吉岡の魅力」の情報発信

主な施策・事業	概要	取組実績
道の駅「よしおか温泉」情報発信強化事業	道の駅「よしおか温泉」を町の東玄関口として位置づけていることから、広域観光案内、防災および地域情報の提供施設としてさらなる整備を図るとともに、地域特産品のPRの強化を図ります。	【デジタルサイネージ運用事業】(産業振興室) 機器の保守を主に行いつつ、新しい運用形態についての検討を行った。
		【Wi-Fi機器設置事業】(産業振興室) Wi-Fi機器について、道の駅利用者の一層の利便を図るため回線の更新を行った。
		【PRイベント】(産業振興室) 新型コロナウイルス感染症の影響により、大規模なイベントは行うことが出来なかった。
まちのイメージアップと観光・行政情報発信の充実強化	吉岡の魅力を再発見し、町の良さを再認識できるような事業に取り組むとともに、ホームページのリニューアル等により「吉岡に行ってみよう」と思われるような情報発信を進めていきます。	【観光ホームページ等による情報発信】(産業振興室) 町観光ホームページの情報更新を行った。
		【ガイドマップの更新】(企画室) 在庫があるため、改訂及び増刷は行わなかった。
		【ホームページの更新・リニューアル】(企画室) 新型コロナウイルス感染症関連情報の更新情報を掲載できるようにし、いち早く確実な情報発信を行った。
		【暮らしのガイドブックの発行】(企画室) 令和3年11月に発行し、全戸配布を行った。
		【広報よしおかの発行】(企画室) 住民に必要な情報を的確に伝えられるよう工夫しながら、毎月予定通り発行した。
【移住・定住支援のPR】(協働安全室) ポータルサイトに町長メッセージ及び移住者のコメント動画などを掲載。また町ホームページにおいても写真に説明をつけるなどして分かりやすくしている。「はじめまして、暮らしまして、ぐんまな日々」での問い合わせやマッチングした移住希望者からの返信を行った。		

(2)働きやすい環境づくり

KPI	シルバー人材センター受注件数			未達成の場合、その理由
目標 R6	1,300 件 (達成目標)	現況 H30	1,282件	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、受注件数の減少があったため。また、天候不順等により作業ができないときがあり、受注数の調整を行う場合があったため。
年度	実績値		達成率	
R2	1,118 件		86%	
R3	1,091 件		84%	
R4	- 件			
R5	- 件			
R6	- 件			
担当部署	産業観光課 産業振興室			
KPI	無料職業紹介センター事業による就職成立者数(商工会)			未達成の場合、その理由
目標 R6	50 人 (毎年度目標)	現況 H30	46人	新型コロナウイルス感染症感染防止のための外出自粛の影響により、窓口への来所者が減少したため。新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者からの求人数が減少したため。
年度	実績値		達成率	
R2	38 人		76%	
R3	44 人		88%	
R4	- 人			
R5	- 人			
R6	- 人			
担当部署	教育委員会事務局 生涯学習室			

主な施策・事業	概要	取組実績
放課後児童安全対策事業(見守りパトロール)【再掲】	児童の帰宅時等の安全を確保するため、放課後に見守りパトロールを実施することにより、保護者が安心して働けるように支援します。	【見守りパトロール事業(再掲)】(協働安全室) 公益社団法人シルバー人材センターに委託し、町内小学校の下校時間帯に、町が所有する防犯パトロール車によるパトロールを実施した。
ワーク・ライフ・バランスの普及・促進【再掲】	町民や企業に対する広報・ホームページ等によるPR活動により、ワーク・ライフ・バランスに対する意識の啓発を図るとともに、仕事と家庭の両立を促進していきます。	【ワーク・ライフ・バランス普及促進事業】(産業振興室) 広報や庁舎内での掲示物などで適宜周知を行った。
地元住民の雇用促進	町内に進出する事業者に対し、正規雇用を含めた地元住民の雇用促進などに関する働きかけを行います。	【(仮)地元住民雇用促進事業】(産業振興室) 商工会発行の「求人情報」への掲載のほかは、当該働きかけを行う機会がこれまで見いだせず、町単独での取組実績はない。 【地域特産品生産体制構築事業】(農業振興室) 新規就農者に対しサポートを実施した。

(3)新しいことにチャレンジする人を応援するまちづくり

KPI	新規就農者数			未達成の場合、その理由
目標 R6	1人 (毎年度目標)	現況 H30	0人	達成。
年度	実績値		達成率	
R2	1人		100%	
R3	1人		100%	
R4	-人			
R5	-人			
R6	-人			
担当部署	産業観光課 農業振興室			
KPI	商工会新規登録事業所数			未達成の場合、その理由
目標 R6	20事業所 (毎年度目標)	現況 H30	20事業所	昨年度比130%の新規登録数であった。目標値に達していない理由は、町及び商工会の加入推進不足のため。
年度	実績値		達成率	
R2	13事業所		65%	
R3	17事業所		85%	
R4	-事業所			
R5	-事業所			
R6	-事業所			
担当部署	産業観光課 産業振興室			
KPI	起業件数			未達成の場合、その理由
目標 R6	3件 (毎年度目標)	現況 H30	2件	達成。 内訳は、小売業、生活関連サービス業、保険業、不動産業、建設業、飲食サービス業、サービス業(他に分類されないもの)(日本産業分類大分類より)
年度	実績値		達成率	
R2	4件		133%	
R3	9件		300%	
R4	-件			
R5	-件			
R6	-件			
担当部署	産業観光課 産業振興室			
KPI	移住支援金を活用した移住者の人数			未達成の場合、その理由
目標 R6	5人 (毎年度目標)	現況 H30	0人	県開設のホームページなどを通じて、PR動画の配信等を行ったが、結果として、利用者はいなかった。
年度	実績値		達成率	
R2	0人		0%	
R3	0人		0%	
R4	-人			
R5	-人			
R6	-人			
担当部署	住民課 協働環境室			
KPI	地域おこし協力隊隊員数			未達成の場合、その理由
目標 R6	1件 (達成目標)	現況 H30	0人	地域おこし協力隊を活用する事業の洗い出し等を行えなかったため。
年度	実績値		達成率	
R2	0件		0%	
R3	0件		0%	
R4	-件			
R5	-件			
R6	-件			
担当部署	住民課 協働環境室			

①就農支援・創業支援

主な施策・事業	概要	取組実績
耕作放棄地等を活用した就農支援	農業委員会が中心となり、認定農業者や農業に興味のある住民等を取り込み、地域一体となって耕作放棄地等の有効活用と就農支援に取り組みます。	【耕作放棄地の活用支援事業】(農業振興室) 農地の耕作状況を調査し、耕作放棄地の中間管理機構を通じた賃借を行った。
生涯現役就労支援	シニア世代の創業支援や地域からの雇用創出により、生きがいづくりを兼ね生涯現役で働き続けられるよう支援します。	【シルバー人材センター活用事業】(産業振興室) 町民に対してシルバー人材センターを活用してもらえるように広報を通じたPR活動を行った。 【シニア向け就業相談事業等の情報提供】(産業振興室) 群馬県シニア就業支援センターについてチラシを窓口に設置し、ホームページに掲載した。
創業支援事業	産業競争力強化法に基づく「吉岡町創業支援事業計画」を策定し、地域雇用の増加を図ります。	【吉岡町創業支援事業計画の運用】(産業振興室) ・創業支援機関と連携した地域の活性化を行った。 ・商工会に設置するワンストップ相談窓口により経営指導員が専門的なアドバイスを行い創業者につなげた。 ・創業支援塾事業として群馬県商工会連合会による「ぐんま創業スクール」の案内を全戸配布し、受講者及び創業者につなげた。
空き家の有効活用	空き家実態調査の結果を踏まえて、創業予定者に対する活用可能な空き家の情報提供などの事業所としての有効活用を図ります。	【空き家等対策計画の策定】(都市建設室) 空き家等対策計画見直しを想定した空き家等実態調査の準備を実施した。 【空き家等対策計画の策定】(産業振興室) 空き家登録なし。

②地域活性化への取組支援

主な施策・事業	概要	取組実績
地域活性化への取組支援	地域の団体等が行うイベントや事業等に対し、補助金等も含め支援することにより、地域の更なる活性化を図ります。	【地域イベント事業助成事業】(協働安全室) 令和3年度についてはコロナ禍もあり、イベントに関する補助申請はなかった。また、事業自体が時限要綱により実施されていたため、精査の上、延長は行わなかった。
地域おこし協力隊の活用	地域おこし協力隊員を委嘱し、新たな支店から地域の活性化を図ります。	【地域おこし協力隊の活用の検討・研究】(協働安全室) 令和3年度においてはコロナ禍もあり、町内で地域おこし協力隊を活用できる事業等の洗い出しが行えず、活用には至らなかった。

(4)町の魅力や企業の価値を高める活動を応援するまちづくり

KPI	新規技術開発企業の発掘			未達成の場合、その理由
目標 R6	現状維持 (毎年度目標)	現況 H30	1件	新技術・新製品を開発する町内事業者からの提出や相談等が無く、発掘にも至らなかったため。
年度	実績値		達成率	
R2	0件		-	
R3	0件		-	
R4	-件		-	
R5	-件		-	
R6	-件		-	
担当部署	産業観光課 産業振興室			

主な施策・事業	概要	取組実績
「よしおかブランド」の立ち上げ	町内の農商工生産物に対し、関係諸団体と協議のうえ、一定の基準を設けた認証制度を立ち上げ、有利販売に結びつけるとともに生産者の意欲向上を図ります。	【地域ブランド化に向けた研究】(産業振興室) 群馬県優良県産品制度の周知を町ホームページや広報にて行った。 【地域ブランド化に向けた研究】(農業振興室) 「乾燥芋」ブランドの存続に向け、種芋の貯蔵庫を提供し、情報提供や技術指導を実施した。
6次産業化に対する支援	町内の農産物を活用し、付加価値を高めた販売に結びつけるための取組を支援します。	【地域特産品生産体制構築事業(再掲)】(農業振興室) 「乾燥芋」ブランドの存続に向け、種芋の貯蔵庫を提供し、情報提供や技術指導を実施した。
地域特産物の販売促進等の支援	地域資源を見直すことにより、農業生産物の加工販売や農業生産体験等を観光化するなどの新たな取組によって、地域雇用を生み出すとともに、地域の求心力を高めていきます。	【地域特産品のPR活動】(産業振興室) 新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが開催されなかった。 【地域特産品のPR活動】(農業振興室) 地域特産物を使ったレンピを提供し、冊子を小・中学校等へ配布し、PRを行った。
ぐんま新技術・新製品開発推進事業	町内中小企業者が行う新製品・新商品の開発に対して、群馬県と連携しながら支援していきます。	【ぐんま新技術・新製品開発推進事業】(産業振興室) 県と連携し広報活動のうえ3次募集まで実施したが、申請に至るものはなかった。
小規模事業者販路開拓等支援補助金事業	町内小規模事業者の販路拡大に資する取組への支援により、地域における持続可能な産業構造の強化を促進します。	【小規模事業者販路開拓等支援補助金事業】(産業振興室) 商工会との連携や広報活動を行い、募集開始早々に交付決定額が予算の額に達したため、募集を終了した。